

ボウリング部 石本美来(経営学部・4年)



左から、片山誠一岡山県環境文化部長、井尻昭夫学長、伊原木隆太岡山県知事、石本美来選手、牧哲也監督、三浦一男事務局長

2018年8月22日～27日に、インドネシア・パレンバンで開催された、第18回アジア競技大会のボウリング競技で女子マスタースズ戦に出場した石本美来選手(経営学部・4年)が決勝での接戦を制し、金メダルを獲得しました。マスタースズでの優勝は日本女子として初の快挙です。

がい旋帰国の翌日30日には、井尻学長等と岡山県庁の伊原木隆太知事を表敬訪問しました。井尻学長は伊原木知事に「金メダルというニュースをお伝えできて良かった。」と挨拶され、7月の豪雨災害で自宅も被災したという石本選手は、「豪雨災害で被災された皆様に勇気を届けられたらうれしい。これからも自分らしくボウリングを楽しんでいくので応援をお願いします。」と挨拶しました。伊原木知事からは「金メダルおめでとございます。久しぶりに良いニュースを聞くことが出来ました。ボウリングは身近なスポーツであり、県民も(健康の為)身体を動かすなど盛り上がって欲しい。」とのご挨拶をいただきました。

石本選手は、「来年に開催される世界選手権で結果を出すため、一層楽しんでボウリングに取り組みたい。」と抱負を述べました。

CONTENTS

<商大トピック>

- 射撃部・和田選手、岡山県「オリンピック」強化指定
- 真鍋島でフィールドスタディ
- スペイン柔道男子ナショナルチームが本学で強化合宿
- プロ卓球チーム「岡山リベッツ」と包括協定

<情報アラカルト>

- 平成30年7月豪雨への対応(ボランティア、支援制度)
- 私立大学研究ブランディング事業
- 第53回商大祭「家入レオ」・「ブルゾンちえみ」

商大トピック

Topic

1

学位記授与式

2018.3.22

2018年3月22日(木)第50回学位記授与式が挙行されました。井尻学長や来賓から、卒業生にはなむけの言葉が贈られ、本年度大きな話題となった、プロ野球ドラフト会議で指名された近藤弘樹さん、蔵本治孝さんには、岡山商科大学特別栄誉賞が授与されました。卒業生を代表して、経済学部大槻真澄さんが、恩師や後輩へ感謝の言葉が述べ、卒業生たちは学び舎を後にしました。(総務企画課)

●学位記授与者数

法学部法学科	53
経済学部経済学科	109
経営学部経営学科	93
経営学部商学科	83
商学研究科	3
法学研究科	2
経済学研究科	1

Topic

2

2018年度 入学宣誓式

2018.4.3

2018年4月3日(火)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。吹奏楽部による華やかな演奏が式に彩を添え、井尻学長から入学の許可が宣言されました(学部、大学院など計635名)。新入生を代表して、経営学部経営学科 佐藤太一さんから入学の宣誓がなされ、本学での新生活がスタートしました。(総務企画課)

Topic

3

2018年度岡山経営者論

2018.4.23~

今年度は、(一社)岡山経済同友会のご協力のもと、岡山経営者論を開講しています。1996年から始まり、今年で23年となりました。本講義は、「アクティブラーニング」という教育形式を用いています。特に、集団での問題解決能力や発表力の修得を目的として、提示された課題をグループで討論し、まとめ、そして発表までを行っています。

2018年度前期は、(一社)岡山経済同友会 事務局長・羽田浩氏、岡山県商工会議所連合会 会長・岡崎彬氏、岡山青年会議所 理事長・青木浩平氏、岡山県中小企業団中央会 会長・晁田眞三氏、(公財)岡山県産業振興財団理事長・三宅昇氏、岡山県経営者協会 会長・野崎泰彦氏にご登壇いただきました。

後期では、岡山県商工会連合会 会長・金谷征正氏、一般財団法人岡山経済研究所 所長・古城寿彦氏、ジェトロ岡山 所長・奥井浩平氏、岡山県農業協同組合中央会 会長・青江伯夫氏、協同組合岡山情報文化研究所 理事長・前坂臣紀氏、岡山リサーチパークインキュベーションセンター センター長 佐藤隆志氏らをお招きし、2回ずつ講義をして頂く予定になっています。

(経営学部 准教授 渡邊恵二)

Topic

4

射撃部・和田光輔選手 岡山県「オリンピック育成事業」強化指定!

2018.5.9

日頃より岡山商科大学射撃部の活動に深いご理解と多くのご支援をいただき感謝申し上げます。

射撃部は2015年に同好会としてスタートし、その後年々部員数が増え、2017年に部に昇格となりました。当

時の練習は岡山県御津ライフル射撃場で練習を行っていましたが、2017年6月に学内にエアライフル射撃場が完成後は学内射撃場で練習をしています。

競技種目としては、10mエアライフル種目、10mエアピストル種目、10mチームピストル種目、50mスモールポアライフル種目があります。

それぞれの種目には10点圏というものがあり、10mエアライフルでは10点圏が0.5ミリ、10mピストル種目と50mスモールポアライフルの種目では10点圏が約1センチとなります。

選手たちは決められた時間の中でその10点圏を狙って競技をしています。

最近の成績としては、ライフル勢は、関西新人戦優勝、文部科学大臣賞争奪全日本学生スポーツ射撃大会6位入賞、ピストル勢は、西日本大会優勝、全国学生・生徒エアピストル 射撃競技大会準優勝といった成績を残しています。

現在の部員数は新入生を加え12名となり、この度岡山県オリンピック強化選手として、和田光輔(法2年)が選ばれました。身近な部員がオリンピックの強化選手に選ばれるということは、とても光栄ですし、他の部員にもいい影響になると思います。

他にもエアピストルMIXマッチでジュニア日本記録を持っている石川海渡(法2年)もあり、オリンピックを目指している部員もたくさんいます。

我が射撃部から一人でも多くのオリンピックが誕生するよう、これからも日々の練習を頑張っていきたいと思います。

皆様の温かいご支援、ご声援に射撃部一同、心よりお礼申し上げます。(学生課)

Topic

5

笠岡・真鍋島小学校・中学校・公民館合同運動会

2018.5.19

昨年に引き続き、真鍋島公民館長から協力のご依頼を頂き、吹奏楽部を含む学生13名で5月19日(土)真鍋島小学校・中学校・公民館合同運動会へ参加する機会をいただきました。

今年は、地域の方との触れ合い(シンクロ)を大事にしたいという小学校・中学校の思いがあり、小中学校の生徒たちや地域のお年寄り、保護者の方みなさんと一緒にプログラムに参加することが主でした。また、吹奏楽部は、昨年同様、プログラム演奏を行うと共に種目間にも演奏し、地元の方々に大いに喜ばれました。

その他、大学生による種目「借りもの競争」では、小中の先生方が地域の方々とうまく調整してくださったおかげで、地元の方々と共に触れ合いながら、楽しく行いました。

引き続き、来年も活動をしていきたいと考えています。(産学官連携センター)

Topic

6

フィールドスタディ・真鍋島でのにんにく収穫

2018.6.2

真鍋島では大島産赤丸にんにくを特産品として製造・加工販売しており、昨年から本学も圃場の開墾や加工品の販売のお手伝いをしてあります。そのような中、6月2日(土)、学生3名が自らの手で開墾した圃場ににてにんにくの収穫を行いました。

地元の方に、収穫方法を教えて貰いながら、むかごを取り、根を切って、茎を切り落とすという慣れない作業に四苦八苦しながらも、疲れは真鍋島の自然環境で癒されます。そして、ようやく全ての収穫を終えた後の達成感、何ものにも代え難い体験でした。

圃場開墾から収穫作業を行った経験を通して、今後、販売のお手伝いだけでなく、真鍋島の観光素材としての活用も視野にいたれた教育研究活動をしていきます。

(産学官連携センター)

Topic

7

FPコース・キッズマネー教室

2018.6.3

大学コンソーシアム岡山主催の「日ようび子ども大学」が6月3日(日)に岡山県生涯学習センターで開催され、本年度も経営学部商学科のFPコース生が「キッズマネー教室」を実施しました。毎年行っている当プログラムは、小学生がゲーム感覚で「目標に向けたおこづかいの貯め方、使い方」を学習できるよう、金融リテラシーマップに基づきFPコースの学生が考案した小学生向け金融リテラシー教育プログラムです。

FPコース2年生が司会進行を務め、1年生は児童に付き添い、1回あたり45分のプログラムを5回実施し、参加児童は真剣そうに楽しそうに取り組んでいました。

本年度の参加数は昨年の2倍近い49名となり、本人だけでなく保護者の関心の高さにも驚かされました。「普段はなかなか教えられないことを教わった」と同席して見守っていた保護者からは感謝の言葉もいただき、金融リテラシー教育を学生主体で実施する意義を改めて実感しました。FPコースの伝統行事である「キッズマネー教室」を、今後も学生が発展させ、育ててくれることを期待します。(商学科FPコース長 海宝賢一郎)

Topic

8

夏季限定メニュー「日生海のそば」プロジェクト

2018.6.9, 7.7, 9.1

2月11日(日)に、備前市を中心に活動する日生カキオコまちづくりの会の方々と共に「カキオコ若者ワークショップ」を行ったことをきっかけに、夏場の話題作りと顧客開拓に向けて、「日生海のそば」プロジェクトを行っています。

6月9日(土)の試食検討会では、日生のカキオコ店舗が13店集まり、本学の学生だけでなく岡山県立大学の学生と共に、試作品を食べながらそれぞれのお店でどのように提供するか、味や見た目について話し合いました。結果、「日生海のそば」は、カキ・エビ・イカ・豚等入りの1,000円程度の海鮮焼きそばとして、各店舗でそれぞれの味が楽しめるようになりました。(10月末まで協賛各店舗にて提供。)

7月7日(土)には、マスコミ各社を呼びお披露目会を行う予定でしたが、豪雨のため中止となりました。しかし、代わりに9月1日(土)に海のそばワークショップとして、本学学生と共に各店舗へ食べ歩き調査を行い、次年度に向けて他のカフェや和食店等にも同プロジェクトの参加を依頼してまわる予定です。

本年度からカキオコまちづくりの会のアドバイザーとして、教職員が就任した関係もあり、引き続き、発展に寄与できるよう尽力して参ります。

(産学官連携センター)

Topic

9

フィールドスタディ・湯原温泉「露天風呂の日」に本学学生が参加

2018.6.26

6月26日、真庭市の湯原温泉において今年も「露天風呂の日」に関連したイベントが行われました。湯原温泉では、「6(ろ):(てん)26(ぶろ)」の語呂合わせにちなみ、毎年6月26日を露天風呂の日と定め、この地に湧き出るお湯と、観光客に感謝する行事を実施しています。本学では、長年にわたってこの行事に協力しており、本年は7名の学生と教員が参加しました。

露天風呂の日当日は、まず地元住民や観光客と一緒に露天風呂の清掃を行いました。その後、露天風呂に感謝する神事が行われ、そこでは4名の学生が巫女や使いの者を務めました。湯原温泉では少子高齢化が進み、神事に参加できる若者が少なく、ここ数年は本学の

学生が巫女役として活躍しています。神事の際は、地元こども園の園児による風船飛ばしを行い、ここでは神事に参加しなかった3名の学生が風船を膨らませて園児に手渡し役割を担いました。学生たちは、それぞれが行事に欠かせない役割を任されることで、地域のイベントには様々な人々がかかわって成立していることを実感できたように思います。

イベント後は、観光客を対象としたアンケート調査を実施しました。この調査は、本学のブランドンギ事業に関連して昨年から実施しているもので、調査結果は分析したうえで地元の観光振興に活用しています。今後も、湯原温泉の様々な活動に貢献できるよう、あらゆる面で連携を深めていきたいと思っています。

(経営学部 准教授 大石貴之)

Topic 10

後援会総会と学科別保護者懇談会

2018.6.30. 9.1

本学は本学後援会と共催による行事を実施していますが、例年通り後援会総会と2回の学科別保護者懇談会を開催しました。

6月30日(土)には、後援会総会と第1回学科別保護者懇談会を開催し、約140名の方に参加いただきました。学科別に保護者との意見交換、情報交換を行い、非常に有意義な時間を共有することができました。また、9月1日(土)には、前期の成績に基づいた、第2回学科別保護者懇談会を開催しました。180名ほどの方に出席いただき、保護者の皆様の強い関心を感じることができました。

(総務企画課)

Topic 11

農泊関連事業“AZAEプロジェクト”

2018.7.5

本学は観光コースを持ち、東アジアからの留学生を多く受け入れていることから、中四国農政局と農泊(日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人の交流を楽しむ農山漁村滞在型旅行)に関する包括的連携協定を、今年1月に締結しました。

協定締結後、本学は同局がモデル地域としている真庭市北房地区において、学生が中心となった2つの事業を展開しました。留学生によるモニターツアーとAZAEプロジェクト・キックオフワークショップです。

モニターツアーは、2月に留学生9名、日本人学生3名が、1泊2日で地元農泊協議会が用意したプログラムに関して感想・意見を返すというものです。焼き割り、餅つき、鑑賞、町家での宿泊、名所巡り等を体験し、留学生からは、「ひとつひとつの場所というより地区を一体として観光商品化を進めるべきです」、「宿でのコンセンタが少ない」等、積極的な意見が出されました。

キックオフワークショップは、地区内の皆(あざえ)商店街にある古民家をゲストハウスとして改装することに端を発する、本学・各種地元団体・農政局が協働して地区の観光力を高めるプロジェクト(通称・AZAEプロジェクト)のスタート企画として行われました。

これは7月5日に商学科授業である「地域マーケティング」の学外実習も兼ねて実施され、留学生4名を含む17名の学生が参加しました。学生たちは、古民家の視察後、地元商店街関係者の方々と同地区の魅力と課題についてのブレイク・ストーミングを行い、「地元の方が実際に着ていた浴衣を、外国人の方に着付け教室(着ていた人が教える)で交流しながら楽しんでもらう」、「残っている黒電話や五右衛門風呂を活用する」等、具体的なアイデアを数多く出していました。同プロジェクトは、ゲストハウスの計画と運営面での学生の協力をはじめ、今後数々の協働事業が行われる予定です。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic 12

スペイン柔道男子ナショナルチームが本学で強化合宿

2018.7.8

平成30年7月8日から30日までの3週間、本学鎌倉館柔道場でスペイン柔道男子ナショナルチームを受け入れ、本学柔道部との合同練習を行いました。

このキャンプが開催されたのは、岡山県が岡山市と共催で2020年の東京オリンピックに向けてのキャンプ誘致、また県民との交流を図る目的で計画されたからで



す。合宿に先立ち7月11日には本学において、本学学長、スペイン柔道連盟、岡山県、岡山市、県柔道連盟、環太平洋大学が出席して「東京オリンピック事前キャンプに関する協定」の調印式が開催されました。井尻学長の歓迎のあいさつ、副知事、市長のあいさつ、記念撮影と滞りなく終了し、女子はIPUで男子は本学で早速練習を開始しました。

スペイン男子チームは2年後の東京オリンピックに標準を合わせて、比較的若い選手の強化に取り組んでいます。世界ランキング3位、5位、の選手も含まれており、活気あふれた練習が展開されました。特に大学の好意で開催された本学中心選手(4年生)とスペインチームの懇談会後は、お互いにより一層打ち解けて柔道部にとってもありある有意義な稽古が出来たと思います。身振り手振りを交えながら、技術を教えあったり、競い合う姿が多くみられるようになったと感じました。

スペイン男子レベルは同じヨーロッパのフランスやドイツほど柔道人口も多くなく、中堅処ですが、参加した選手たちはオリンピックの出場権ランキングを確保するために真剣に取り組んでいました。この中から一人でも多くの選手がオリンピックに出場することを願っています。

2020年東京オリンピックまで、毎年一回は本学でキャンプすることを約束して7月30日無事帰路につきました。

(柔道部顧問 大谷崇正)

Topic 13

～本場中華料理～第2学生食堂が開店

2018.7.12

7月12日(木)に、第2学生食堂が開店しました。場所は、キャンパス敷地の北東の角で、営業時間は午前11時から午後2時、午後5時から午後10時まで。店名は「大喜上昇」。一口食べれば喜びが大きくなるという意味ですが、さすが本場中国人シェフの腕にかかると、野菜や肉・魚などなんでも極上の料理に早変わり。味は、中国東北方の料理で上品で上品に仕上がっています。メニューも多彩で、60種類の料理を常に提供できるようにしています。利用者が最も多い昼食時には、日替わり定食として、4つの盛り皿から2種類の料理をたっぷり選び、野菜サラダ・スープ・漬物付きのご飯食べ放題で700円。学生、教職員も納得できる内容となっています。

開店から3ヶ月になりますが、日替わり定食、単品料理ともに評判は上々で、多くの学生、教職員が足を運んでおり、第2学生食堂としての存在感を発揮しています。

まだ、利用していない方は、一度足を運んで味見をされてはいかがでしょうか。

(総務企画課)

Topic 14

プロ卓球チーム「岡山リベッツ」と包括協定締結。

2018.8.7

本学では、スポーツを通じた人材育成にも力を入れており、多くの部活動が多彩な活躍をしています。中でも卓球部は、第88回全日本大学総合卓球選手権大会団体の部に男女とも出場するなど、著しい活躍を見せています。本学としても、新たに卓球場を整備するなど、選手の育成に取り組んでいるところです。

さて、2年後に迫った東京五輪で金メダルを獲得できる選手を育てる事を目的として、卓球の新たなリーグ、「Tリーグ」が発足し、「岡山リベッツ」が国内外から強豪選手を集め活動を始めました。

本学と岡山リベッツは、地元岡山で卓球を通じたスポーツ振興に取り組んでいることから、お互いが有する様々な資源(人的、物的、知的)を尊重し、連携、協力することにより相互の発展を目指すことが可能であり、この事により、岡山県のスポーツ文化の発展及び地域振興に資することができると考え、2018年8月7日に、包括的相互連携協定を締結いたしました。株式会社岡山リベッツ代表取締役の羽場誠氏は、「岡山リベッツは世界トップクラスの卓球を岡山で広げ、大学が強化している卓球競技の向上に寄与したい。また、岡山リベッツの資源を利用

することで、「専門性を持つ人材」や「心豊かな人材」を育成する一助になりたい。」とご挨拶されました。井尻学長からは、「最新の卓球場を整備しており、活用していただきたい。」と応えられました。岡山リベッツ、本学卓球部の益々の活躍が期待されます。

(総務企画課)

Topic 15

科学研究費助成事業への取り組み

科学研究費助成事業(科研費)は、研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つであり、文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、同業者による審査を経て、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対して助成を行います。本学からも毎年多数の研究者が申請を行っており、平成30年度は、以下の研究課題で研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
基礎研究(B) [研究代表者] H28~30	公的大規模データの利用におけるプライバシー保護の理論と応用	佐井 至道 (経済学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H28~30	北海道における高齢者の孤立化に関する発展的研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H28~30	高度先端医療の説明義務と裁量に関する倫理・法・社会的視点からの複合的研究	栗屋 剛 [研究代表者] 穴戸 圭介 [研究代表者] (法学部・教授)
挑戦的萌芽研究 [研究代表者] H28~30	アジア和僑ビジネスと日本の地方農産産業・国際ロジスティクスネットワークの併存	古川 澄明 (経営学部・教授)
若手研究(B) [研究代表者] H28~30	複数事例の進展統合化グラフによる事業所内の潜在的リスク可視化システムの開発	賀輪 弘嗣 (経営学部・准教授)
基礎研究(A) [研究代表者] H29~33	イギリス公法訴訟における違法性の判断構造に関する研究	伊藤 治彦 (法学部・教授)
基礎研究(B) [研究代表者] H29~32	配偶子凍結保存の増加と「ライフプラン」「ジェンダー観」の変化に関する学際的研究	栗屋 剛 [研究代表者] (法学部・教授) 穴戸 圭介 [研究代表者] (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H29~31	「手術誘引」の研究	栗屋 剛 [研究代表者] (法学部・教授) 穴戸 圭介 [研究代表者] (法学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H29~31	アイトラッキングデータを活用した消費者行動の分析	大東 正虎 (経営学部・教授)
挑戦的萌芽研究 [研究代表者] H29~31	認知症患者の人権保障に向けた学際的研究	栗屋 剛 (法学部・教授)
若手研究(B) [研究代表者] H29~30	経済的アプローチからみた新たな家族制度とそれに対応する租税法の探求	加藤 友佳 (法学部・准教授)
基礎研究(B) [研究代表者] H30~32	ハンセン病医療倫理学の創出に向けた学術的基盤の構築とカリキュラム開発	栗屋 剛 (法学部・教授)
基礎研究(B) [研究代表者] H30~34	ビッグデータデータの匿名性評価手法の開発	佐井 至道 (経済学部・教授)
基礎研究(C) [研究代表者] H30~32	児童・生徒の批判的思考力の発達に基づく小・中学校社会科授業モデルの開発研究	前田 健一 (経済学部・教授)

(総務企画課)

Topic 16

ホームページのリニューアル

2018(平成30)年にホームページの更新をしました。

既存のHPは、2004(平成16)年に更新し、2010(平成22)年に部分更新をしました。しかし、約10年間のIT技術の進歩は著しく特にスマホからのアクセスが多いことから、多様な操作機器に表示画面が対応できること、表示内容の検索が容易にできること、画面のデザインが一度アクセスしたら再度アクセスしなくなること、教員全員の教育研究内容を掲載することで、数社の提示を受け、本学の従来のホームページの内容分析から方向性を明確に示されたホームページ制作会社を選定しました。公開したホームページは、図に示すように上から右側にえんじ色の帯をいれたデザインであり、一度訪れると、印象に残るものです。大学の活動を常にホームページに反映し、生きた情報提供をすることにより、多くの方々を訪れていただくことを望んでいます。

(副学長 大崎紘一)



山陽新聞賞祝賀会

平成30年1月11日に、井尻学長は、長年にわたる教育の振興、人材育成に取り組んできたことが評価され、栄えある山陽新聞賞を受賞されました。

受賞を受け、3月11日には、岡山県商工会議所連合会会長の岡崎彬様、衆議院議員の逢沢一郎様らを発起人として、受賞記念祝賀会が岡山プラザホテルにおいて開催されました。

発起人を代表して、岡崎会長から、「岡山商科大学は、早くから海外からの留学生を受け入れており、他の大学の模範となるものである。産学官連携、地域交流など様々な教育を行っている。これからも地域に貢献していった頂きたい。」とのご挨拶がありました。

来賓祝辞として、逢沢衆議院議員から、「(プロ野球の)ドラフト会議で2名の選手が指名されたことは岡山にとってうれしいことであった。地域社会、また日本を担う実学を身につけた即戦力としての人材を育成し、他大学の模範となって欲しい。」と、また、(一社)岡山経済同友会代表幹事でこの度の賞を贈られた山陽新聞社代表取締役社長の松田正己様からは、「(岡山商科大学は)産業界との連携も盛ん。平成8年から岡山経営者論を開講されている。経営者にとっても学生に講義をすることは、自らの経営を振り返るきっかけともなる。今年から金融総合教育プログラムもスタートされる。井尻艶太氏は、昭和34年第17回に、井尻裕氏は、平成6年第52回にこの受賞された。井尻昭夫氏にも引き続き、岡山の教育のみならず地域の発展にご尽力いただきたい」とのご挨拶がありました。

花束贈呈の後、井尻昭夫学長からの謝辞があり、岡山商科大学同窓会会長藤井大三郎様から乾杯のご挨拶をいただきました。お祝いの言葉を株式会社デンシヨク代表取締役会長野田好信様、山陽学園大学学長齊藤育子様からそれぞれ頂戴し、岡山商科大学吹奏楽部の演奏の後、株式会社さえら代表取締役会長木谷忠義様から閉会のご挨拶をいただき、盛会のうちに閉会となりました。

(総務企画課)



岡崎彬様による発起人代表ご挨拶

エッセー
数珠つなぎ

働くことについて

経済学部経済学科 講師 佐々木昭洋

私が岡山に赴任して1年と半年が過ぎようとしています。幸運にも私は大学院を修了してすぐに岡山商科大学に採用していただきました。つまり、いわゆる就業経験というものがなく、教員として働き始めたわけです。

さて、「働く」とは何でしょうか。昨今は政府が推進する「働き方改革」など、これまでの日本社会で美德とされてきた労働のスタイル・環境からの変革が求められています。

人はなぜ働くのか、を考えたときに、まず、第一義的には生きるためだと思います。しかし、ここ日本で、最低限の生きる糧を得る手段を見つけることは、それほど難しいことではないでしょう。なんでもよければ、それこそどんな仕事でもできるのではないのでしょうか。

とはいえやはり、なんでもはよくないわけです。生きる糧を得る、つまり、お金を得る以上のものが、働くということには求められるのかもしれない。それは例えば「自己実現」だったり、「社会貢献」だったりするのでしょう。

私は経済学者の端くれですので、経済学的に働くということを考えてみると、やはりお金をもらうことが中心になります。さらに言えば、働くことは自分の自由な時間を失わせる「苦役」として考えられます。もちろん自己実現や、社会貢献の重要性を否定するものではありませんが、そういう嫌なことを人々に行ってもらうにはどうすればよいのか、ということが経済学的な議論です。一方で社会という大きな立場から見れば、モノを生み出すためになくてはならない存在であり、ひいては経済成長の原動力であります。だからこそ政府には働きやすい環境を整備することが求められます。

最後に私自身のことを申し上げれば、大学院時代の名残で、だらだらと24時過ぎまで研究室にすることが常態化しています。今までは若さと気合でこなしてきましたが、もうそろそろ年齢も年齢ですので、自分自身の働き方改革をしなければいけないと思うわけです。と言いながらこのエッセイは24:30の研究室で書いています。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

岡山は災害が少ないと言われ、県民もそれを鵜呑みにしていたようなところへ、あの豪雨災害がやってきました。我が家は児島の山中にあるのですが、さすがにあの日は、土砂災害には異常に神経質になりました。周囲の山々は、台風などで崩落するような箇所が多いからです。豪雨の後、やはり道路が数カ所寸断され、町に出るルートは一本のみとなりましたが、自宅は無事でした。

県で最大の被災地である真備町には、知人家族が二世帯あり、連絡を取ってみると、やはりどちらも浸水被害に遭っていました。要請をいただいたので、微力ながら翌週の火曜日には片付けのお手伝いをさせていただきました(本格的なボランティアが始まるかどうかという混乱した時期)。

被災地は無残なものでした。

そこで黙々と片付けを行う人々。思い出や思い入れのある品々が次々と、容赦なく、残骸となって運び去られていきます。しかし、私がお手伝いをさせていただいたご家族は、どこか妙に達観しています。衆観とも違う。腹をくくっているというのか、よい意味であきらめているというのか。

日本列島は、古代から地震、噴火、また山脈列島の特質から水害も多かった。このような自然災害が多い土地柄は、世界的に見ても珍しいかもしれません。

人間は環境に左右される生き物です。縄文時代から一万年数千年、あるいはそれ以前から、この列島に住み続けてきた日本人の、災害への免疫というのか、どこか底知れぬしたたかさのよくなものも感じ取った一日でした。

大学生も頑張った災害ボランティア

今年7月に発生した100年に一度ともいわれる記録的豪雨は、岡山県内の多くの河川の堤防が決壊し浸水被害や土砂崩れの発生など甚大な被害をもたらしました。

こういった中、「地域と呼吸する大学」を自負している本学は、すぐに学生活動支援センターを中心に学生や教職員に呼びかけ岡山市東区平島地区、総社市昭和地区、倉敷市真備町の被災地に多くの学生や教職員がボランティアとして入らせていただきました。前期の授業や試験がある中、災害発生1週間後に入った総社市では、二階まで浸水した住宅の家具や畳等の災害ゴミの運び出しを行いました。参加した学生は、「昨日まで普通に使っていた生活用品が、翌日には災害ゴミになって捨てら



浸水した住宅から畳やタンスの搬出

れていく現実をどう受け入れたいのか。」とか、日中の最高気温が37度を超え、熱中症が心配な中での作業であり、15分作業、15分休憩というローテーションで水分補給がないとやっていけないこの水に救われている自分は、「水によって痛めつけられ、水によって命を救われる、この水って一体何だろう。」と語っていました。また、ボランティア活動と平行して、学内や奉還町商店街での募金活動も行いました。今後の課題は、社会に貢献する地域のボランティアリーダーを育成としていくことが求められていると考えています。

学生活動支援センター長 吉田 信（経営学部商学科 教授）



住宅周辺に流れ着いたゴミの片付け

平成30年7月豪雨で被災された在学生の皆様へ

岡山県がこれまで経験したことのない豪雨災害から早2カ月が過ぎました。

改めてお亡くなりになられました方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された多くの方々に心からお見舞いを申し上げます。

さて、この度の災害により被災した本学の学生も多く、被災直後から罹災報告や情報が学生課に寄せられたなかで、自宅が全半壊し避難所や車での生活を強いられている方、親せきや知人宅に居候している方等、猛暑の続く中で懸命によく頑張られていると思います。

本学の教職員・学生の有志が被災された各地へ出向きボランティア

活動を続けておりますが、大量の災害廃棄物の撤去から半壊した家屋の復旧への清掃作業等で被災された方々に大変感謝されております。しかし、完全復旧にはほど遠く、一日も早い復興に向けて多くの方々のご理解とご支援を必要としているところです。

本学では、今回の災害で居住する住宅が全半壊等して、生活に著しい支障が生じている本学学生に対し被害程度に応じた支援をしております。夏季休暇に入ってから被害状況が多く寄せられましたが、被災に遭われ大学に届け出していない方がおられましたら至急学生課までご連絡をください。（学生課）

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り 新たな10年のスタート

岡山商科大学孔子学院は、岡山商科大学と大連外国語大学との共同プロジェクトとして平成19年(2007年)に開設され、10周年の記念行事を経て、今年から新たな10年に入りました。いままでも同様に多くの方々のご支援のお陰で、中国語講座を中心に様々なイベントを展開してきました。

2018年度前期において、孔子学院では、中国語講座を中心として語学教育を行い、昼と夜の両方の時間帯に、入門、初級、中級、上級に分け、8レベルのコースを展開しております。さらに、HSK受験向きの特訓コースや会話コースなども開設しております。イベントは、

(1)商大の経営学部商学科とコラボして行った端午節交流会。商大生と留学生と一緒に粽(ちまき)づくりをし、クイズに答え、交流を深めました。そして、中国の伝統的な祝日についても、より理解を深めました。

(2)津山商業高校との遠隔システムによる中国文化授業(全15回)で、第1回は実際に孔子学院スタッフと本学留学生が津山商業高校に出向かい、高校生と一緒に餃子づくりや切り絵を体験し、クイズなどをして、交流会を行いました。

(3)中国語教育研究会。岡山の中国語教師及び長年の中国語学習者を対象に研究会を行いました。日本人学習者の中国語学習における問題点や日本語による干渉などについて専門家を招き、講座を行いました。

(4)中国語朗読コンテスト。中国語の学習成果を報告することでもかねて、朗読コンテストを行いました。参加者は岡山県内の中国語学習者で、学習経験が1年未満の高校生もいれば、10年以上の年配者もありました。それぞれ素晴らしいパフォーマンスを披露さ

れ、今後の勉強の励みとなりました。

(5)中国料理教室。岡山市北区の富原プラザで現地の一般市民の餃子づくりの体験を行いました。

(6)中国語短期研修サマーキャンプを実施しました。今年の参加者12名は全員商大生です。姉妹校の大連外国語大学の所在地大連(旅順を含め)での研修をはじめ、北京、上海での見学もできました。中国の歴史を振り返り、現代中国を見る機会となりました。

(7)中国語スピーチコンテスト受賞者の遼寧省研修旅行。昨年度の中国語スピーチコンテストで受賞したベスト6名が副賞として中国遼寧省に招待され、5日間の研修旅行をしました。

今年は中日平和友好条約締結40周年にあたり、岡山商科大学孔子学院が新たな10年に入る、新しいスタートでもあります。今後とも引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

(孔子学院副院長 肖爽)



キャリアセンター便り

2019年春採用の就職状況について

文部科学省の発表によると、今春2018年3月の大学等卒業生の就職率は「超売り手市場」の影響で98.0%と調査開始以来、過去最高となりました。本学卒業生もほぼ同率の97.7%と高い数字を維持しています。これに続く来春2019年3月の大学等卒業予定者は、6月1日の時点で内々定を得た学生の割合が61.9%と昨年の同時期51.3%を10.6ポイント上まわり（大手就職情報会社の調べによる）、本学においても同傾向となっています。就職活動に関しては経団連と大学側との就職協定により採用に係る広告活動開始は3月1日より、選考は6月1日からと申し合わせがなされていますが、6月1日以前に選考が行われ、多くの会社が内々定を出しているのが実状です。

このように依然、好環境の就活状況ですが特に今年度の特徴として

- ①企業の採用手法（部門別、地域別採用等）の多様化
- ②最初の面接から内定出しまでの期間の短期化
- ③自社インターンシップに参加した学生への内定出しの増加などの点が挙げられますが、これらの事から企業側として早

期に学生を確保したいとの意向がみてとれます。

一方で、複数の会社から内定を得たものの、最終決定に悩んでいる、または内定を得てからも引き続き就職活動を続けている学生も本学の学生で多数見受けられます。

キャリアセンターとしてはこのような状況をふまえ、①低学年からの様々な就職関連行事（講座等）の開催②3年次生を対象としたゼミ別ガイダンスの実施③インターンシップ参加促進などに力を入れる④4年生の未内定学生へは学内で個別の会社との面談の機会を提供する⑤内定学生のフォローなど、学生一人一人と向き合う取組を続けて行きたいと思います。

（キャリアセンター課）



学内合説での一コマ(4月5日開催)

Information

情報アラカルト

平成29年度計算書(岡山商科大学)

資金収支内訳表

(単位:千円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,553,544
手数料収入	22,767
寄付金収入	13,719
補助金収入	178,985
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	59,736
受取利息・配当金収入	3
雑収入	335,010
借入金収入	150,000
収入の部合計	2,313,764
支出の部	
科目	金額
人件費支出	1,175,032
教育研究経費支出	486,263
管理経費支出	168,000
借入金等利息支出	535
借入金等返済支出	10,800
施設関係支出	441,052
設備関係支出	95,707
支出の部合計	2,377,389

事業活動収支内訳表

(単位:千円)

		科 目	金 額
教育活動収支	収入	学 生 生 徒 等 納 付 金	1,553,544
		手 数 料	22,767
		寄 付 金	14,572
		経 常 費 等 補 助 金	178,985
		付 随 事 業 収 入	59,736
		雑 収 入	335,010
		教 育 活 動 収 入 計	2,164,614
	支出	人 件 費	1,169,067
		教 育 研 究 経 費	693,486
		管 理 経 費	206,647
徴 収 不 能 額 等		0	
教 育 活 動 支 出 計		2,069,200	
教育活動収支差額		95,414	
教育活動外収支	収入	受 取 利 息 ・ 配 当 金	3
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0
		教 育 活 動 外 収 入 計	3
	支出	借 入 金 等 利 息	535
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	3
		教 育 活 動 外 支 出 計	538
		教育活動外収支差額	△ 535
経 常 収 支 差 額		94,879	
特別収支	収入	資 産 売 却 差 額	0
		そ の 他 の 特 別 収 入	0
		特 別 収 入 計	0
	支出	資 産 処 分 差 額	1,919
		そ の 他 の 特 別 支 出	0
		特 別 支 出 計	1,919
		特 別 収 支 差 額	△ 1,919
基 本 金 組 入 前 当 年 度 収 支 差 額		92,960	
基 本 金 組 入 額 合 計		0	
当 年 度 収 支 差 額		△ 92,960	
(参考)			
事 業 活 動 収 入 計		2,164,617	
事 業 活 動 支 出 計		2,071,657	
(参考)			
基 本 金 取 崩 額		323,093	

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

人事異動

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	嘱託職員	福田紀代	会計課	9月1日
退職	特任教授	坂下 晃	経済学部経済学科	2月18日
称号授与	名誉教授	坂下 晃	—	2月19日
退職	教授	越智悦子	法学部法学科	3月31日
	准教授	長谷川博史	経営学部経営学科	
	大学院専任教授	石島 弘	大学院法学研究科	
	教授	岡本輝代志	経営学部商学科	
	特任教授	柳瀬 昭彦	経営学部商学科	
	准教授	山根智沙子	経済学部経済学科	
	教授	宮 偉	経済学部経済学科	
	准教授	新津和典	法学部法学科	
	嘱託職員	森 博幸	総務企画課(技能員)	
	嘱託職員	福田紀代	会計課	
採用	教授	松井温文	経営学部商学科	4月1日
	教授	穴戸圭介	法学部法学科	
	特任教授	福本 明	経営学部商学科	
	講師	青木 隆	経営学部商学科	
	助教	渡辺寛之	経済学部経済学科	
	助教	西 春奈	経営学部商学科	
	准教授	韓 雲冬	経済学部経済学科	
	大学院特任教授	青井秀夫	法学研究科	

(2018年2月～2018年9月現在)

種別	役職等	氏名	所属	日付
採用	嘱託職員(非常勤)	岡村浩二	学生課(原野部コーチ)	3月1日
	事務職員	赤木貴人	学生課	
	事務職員	山縣玲子	入試課	
	事務職員	朝原智子	総務企画課	
	事務職員	楠本美香	法人事務局	
	嘱託職員(参事・非常勤)	浜崎之義	入試課(大連部AI(イザ)	
	嘱託職員(非常勤)	山本豊秀	学生課(ゴルフ部監督)	
	嘱託職員(技能員)	小寺博信	総務企画課施設設備	
	嘱託職員	徳田早紀	会計課	
	嘱託職員	大倉京子	入試課	
昇任	教授	大東正虎	経営学部経営学科	4月1日
	准教授	井尻裕之	経営学部経営学科	
	准教授	大石貴之	経営学部商学科	
	課長補佐	時耕邦宏	法人事務局	
称号授与	名誉教授	越智悦子	—	—
	名誉教授	石島 弘	—	
	名誉教授	岡本輝代志	—	
	名誉教授			
採用	嘱託職員	釣田由紀	法人事務局	5月1日
退職	嘱託職員	釣田由紀	法人事務局	5月31日
採用	嘱託職員	安藤あかり	法人事務局	7月9日
移籍	事務職員	楠本美香	会計課	9月1日

(総務企画課)

文部科学省・平成29年度 私立大学等研究ブランディング事業 「『寄り添い型』研究による 地域価値向上」

本研究は2年目に入り、申請時14テーマであったものが、本年度から表に示す16テーマに増加し、30名以上の教員が参画する大きな研究グループに発展し、本学の「地域と呼吸する大学」の研究のブランドになってきています。各研究テーマとも対象地域に向いて研究課題を解決するためのデータ収集、ヒヤリング等を地域の方々のご協力により積極的に行っています。協力いただいている地域の皆様に感謝申し上げます。2017(平成29)年度の成果の一部については、二松學舎大学との共同でナカニシヤ出版から出版した「フードビジネスと地域」に食品の流通に関する研究をしている5名の先生方に成果の一部をまとめて執筆していただき、「地域価値の向上」にいささかの貢献をさせていただきました。フードビジネスについて渡邊憲二准教授(経営学部経営学科)は、岡山市主催の第1回産学官連携大学シーズ&民間企業ニーズマッチング会(2018年9月15日開催)で発表しました。また本研究の動向については、2018(平成30)年6月にシンポジウムを開催し、徳島県神山町の神山モデルを推進されている(株)リレーション代表取締役萩院弘智氏の特別講演、本学の4名の教員による研究進行状況について報告されました。

この研究では、研究対象地域の「地域価値の向上」をはかると共に、「地域と呼吸する大学」のブランドイメージをステークホルダー(地域、

経済界、在学生、保護者、卒業生、受験生)の方々に浸透させ、確立することも含まれています。(副学長 大崎紘一)

研究ブランディング事業一覧：研究テーマと研究対象地域

社会的側面の研究テーマ	対象地域
生活の質の向上	
生活の質の向上—結婚・子育てに向けた若者支援と高齢者の活用	津山市、瀬戸内市
食と法—行政法と民法からのアプローチ	岡山市
自然環境との共生	
農業振興と自然環境との共生に関する経済分析	津山市
文化、歴史、ダイバーシティの保持・推進	
岡山市におけるコミュニケーション支援及び言葉のバリアフリー化	岡山市

経済的側面の研究テーマ	対象地域
特産品開発	
備前醤油の歴史・現状・展望	岡山市、倉敷市、備前市
岡山県におけるフードビジネスと地域活性化に関する研究	総社市
蒜山地域における農作物を活用した特産品開発	真庭市蒜山地区
芳賀地区の農家との共同生産と販売—清水白桃と野菜を対象に	岡山市
観光開発	
湯原温泉における新たな地域資源を生かした観光振興	真庭市湯原地区
笠岡市真鍋島の観光振興	笠岡市真鍋島
空き家再生	
空き家再生(中古住宅流通の活性化、地域資産の有効活用)	瀬戸内市、備前市、津山市
仕事創造	
地域活性化戦略につなげるIoTプラットフォーム開発	真庭郡新庄村
仕事創造：地元企業への若者の就職支援	岡山市
地域内の経済循環の分析・考察 地域経済におけるものづくりの基盤となる組織能力を構成する小集団改善活動の有効性	岡山市、倉敷市
地域内の経済循環の分析・考察	
地域経済における金融の役割	岡山市、瀬戸内市
地域ブランド戦略	
地域ブランド戦略—観光客、移住者の増加に向けた地域ブランド戦略—	和気郡和気町

第53回商大祭

第53回商大祭が10月20日(土)、21日(日)の2日間の日程で開催されます。

今年のテーマは、「協心戮力～Be together as one!!」としました。協心戮力とは、心をつなぐに全員の力を結集し、一致協力して物事に取り組むという意味です。岡山商科大学に関わる全ての方々の力を一つに結集し、商大から岡山を元気にすることを目標に今年の大学祭を成功させたいという想いからこのテーマに決めました。

我々、大学祭実行本部としても、今日まで培ってきた伝統に加え、新たな取り組みに挑戦していきたいと考えています。期間中は、多彩なステージ企画、バラエティに富んだ模擬店の出店、展示等、内容盛り沢山です。

皆様のご来場をお待ちしております。

今年のアーティストライブ 出演者は...

①MUSICライブ

『家入レオ』

10/20(土)

体育館ステージにて

★有料★ライブ

チケット：前売り2,500円、当日3,000円

②お笑いライブ

『ブルゾンちえみwithB』

10/21(日) 野外ステージにて

★無料★ライブ

(大学祭実行本部)



Information
情報アラカルト

2019年度入試日程

Web出願受付中!

詳しくは岡山商科大学
のホームページを
ご覧ください。

Point.1 入学願書記入不要です。

Point.2 24時間出願・支払い可能。

Point.3 記入漏れの心配なし!

A O 入試	学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
	法学部 経済学部 経営学部	第1回AO(専願・浪人可) 第2回AO(専願・浪人可)	詳細は、本学ホームページ「AO入試エントリーガイド」をご覧ください。 (第1回～2回の年2回実施。エントリー期間 8月1日(水)～11月2日(金))				【Web受付】	

推薦入試	学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
	法学部 経済学部 経営学部	指定校推薦 前期日程(専願)	①授業体験レポート ②グループ面接	10月13日(土)	本学・沖縄	9月10日(月)～10月3日(水)	Web出願	10月19日(金)
		指定校推薦 後期日程(専願)		2月22日(金)	本学	1月21日(月)～2月13日(水)		3月1日(金)
		専門能力推薦 前期日程(専願)	①授業体験レポート ②グループ面接	10月14日(日)	本学	9月10日(月)～10月3日(水)	Web出願	10月19日(金)
		専門能力推薦 後期日程(専願)		2月22日(金)		1月21日(月)～2月13日(水)		3月1日(金)

一般入試	学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
	法学部 経済学部 経営学部	前期A日程	①英語(100点) …… ②選択1科目(100点) …	2月2日(土)	本学・大阪・鳥取・松江・広島・福山・徳島・高松・松山・高知・小倉	1月7日(月)～1月23日(水)	Web出願	2月8日(金)
		前期B日程	選択2科目(200点) …	2月3日(日)				
		中期日程	選択2科目(200点) …	2月21日(木)	本学	2月4日(月)～2月13日(水)		3月1日(金)
		後期日程	①選択1科目(100点) … ②口頭試問	3月7日(木)	本学	2月18日(月)～2月27日(水)		3月15日(金)

大学入試センター試験利用入試	学部	試験区分	入試教科・科目	選考方法	試験日	出願期間	出願方法	合格発表日
	法学部 経済学部 経営学部	前期日程	国語、地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から第1解答科目)、数学(数I、数II、数I・数II、数II・数I、簿・会、情報、から1科目)、理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目、又は物理、化学、生物、地学から第1解答科目)、外国語(英(リスニングを除く)、独、仏、中、韓から1科目)から2教科を対象とします。	個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。(400点満点。大学入試センター試験での配点が100点の科目は200点に換算します。)	1月7日(月)～1月23日(水)	2月4日(月)～2月13日(水)	Web出願	2月8日(金)
		中期日程						3月1日(金)
		後期日程	<注>理科において「基礎」を付した科目は、2科目を選択する必要があります。			2月18日(月)～3月7日(木)		3月15日(金)

「やりたいことを見つける幸せ。」

岡山商科大学タグラインが決定!

岡山商科大学では学生の目線に立ったタグラインを決定するため、今年3月に全教職員にて会議を開催し、最終的に「やりたいことを見つける幸せ。」と決定しました。これは、学生のみならずに学びを提供することで新しい自分を見つけ、そこから世の中や人のため、地域のため、そして自分のために「なにに」へ挑戦したいと思うことができる学生を育てることです。そして、それをサポートするのが、岡山商科大学です。「やりたいことを見つける幸せ。」… 一人でも多くの学生に4年間の学生生活で、「やりたいことを見つける幸せ。」をつかんでもらいたいです。

平成30年7月豪雨等により被災した受験生への支援制度について

岡山商科大学では、家計支持者が災害救助法適用地域に在住するなどの事情により、平成30年7月豪雨等で被災した受験生に対し、受験料及び入学金、並びに1年次前期の授業料、教育充実費及び受託徴収金を免除する支援制度を定めました。

【対象】災害救助法若しくはこれに準じる法令の適用を受ける災害等により、経済的に修学困難となった者

- ①家計支持者が死亡若しくは行方不明である。
- ②家計支持者の居住する家屋が全半壊や流出等の損壊等を受けた者。
- ③家計支持者が長期療養中若しくは重度の障がいを負っている者。
- ④家計支持者が失業するなどして著しい家計急変がある者。

【主な申請書類】

- ①災害等による被災支援申請書(本学様式)
- ②被災状況証明書(罹災証明書、診断書)
- ③所得証明

詳細につきましては、入試課までお問い合わせ下さい。

慶應MCC 夕学講座
2018年度後期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会場 岡山商科大学 地域交流話室(学生会館2階)
- 受講料 バスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月9日(火) <社会の進化と深化>

佐々木 紀彦 (ささき のりこ)

株式会社ニュースピックス 取締役CCO、NewsPicks Studios CEO

「メディアの未来とNewsPicksの未来」

10月18日(木) <この人に聞く>

穂村 弘 (ほむら ひろし)

歌人

「世界と<私>の関係を言葉にする」

10月19日(金) <ここからあなたの幸福論>

藤田 統一郎 (ふじた こういちろう)

東京医科歯科大学名誉教授

「腸内細菌とともに生きる

～腸内細菌を大切にすると心身体も元気になる～」

10月30日(火) <戦略と技術が拓く近未来>

大山 晃弘 (おおやま あきひろ)

アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長

清水 勝彦 (しみず かつひこ)

慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

「ユーザーイン経営とジャパンソリューション」

※本講演は大山氏の講演60分・対談30分・質疑応答30分の構成です。

10月31日(水) <日本と世界の論点>

出口 治明 (でぐち はるあき)

立命館アジア太平洋大学(APU) 学長

「これからの『学び』」

11月6日(火) <戦略と技術が拓く近未来>

池上 高志 (いけがみ たかし)

東京大学大学院総合文化研究科・広域科学専攻 教授

「人工生命研究からみる未来のかたち」

11月13日(火) <人を活かす組織>

白坂 亜紀 (しらかさ あき)

銀座 クラブ稲葉 オーナーマナ

「銀座ママに学ぶ経営力、人間力」

11月22日(木) <戦略と技術が拓く近未来>

前田 裕二 (まえだ ゆうじ)

SHOWROOM株式会社 代表取締役社長

「SHOWROOMが創る共感経済圏」

11月27日(火) <社会の進化と深化>

吉田 ちか (よしだ ちか)

YouTube Creator

「好きなことでヒトの役に立てる時代」

11月28日(水) <社会の進化と深化>

安田 秀一 (やすだ しゅういち)

株式会社ドーム 代表取締役CEO、法政大学アメリカンフットボール部 前監督

「スポーツを通じて豊かな社会を」

12月4日(火) <ここからあなたの幸福論>

藤平 信一 (とうへい しんいち)

心身統一合気道会 会長、慶應義塾大学体育會合気道部師範・特選塾員

「持っている力を最大限に発揮する」

12月12日(水) <この人に聞く>

千 宗屋 (せん そうおく)

武者小路千家家元後嗣

「茶の湯のかたちに見る、日本の美と心」

1月11日(金) <社会の進化と深化>

藤原 和博 (ふじはら かずひろ)

教育改革実践家

「戦略的「モードチェンジ」のすすめ」

1月17日(木) <日本と世界の論点>

小林 慶一郎 (こばやし けいいちろう)

慶應義塾大学経済学部 教授

「財政危機と日本経済～将来世代の利益をどう守るか～」

1月29日(火) <人を活かす組織>

相澤 孝夫 (あいざわ たかお)

社会医療法人財団 慈泉会 理事長、相澤病院 最高経営責任者

「相澤病院の経営改革」

■お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所

〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1

TEL 086-256-6656(直通)

FAX 086-252-0642(代表)

●岡山商工会議所 夕学講座担当

〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15

TEL 086-232-2262

(社会総合研究所)